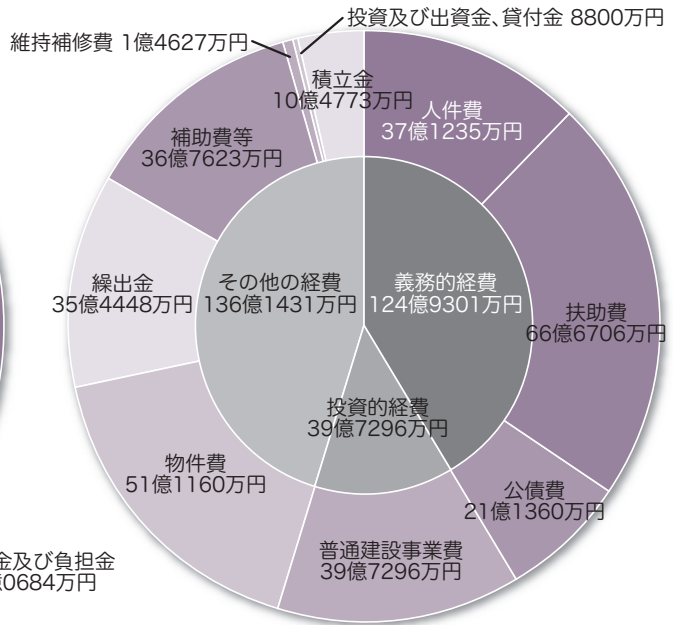
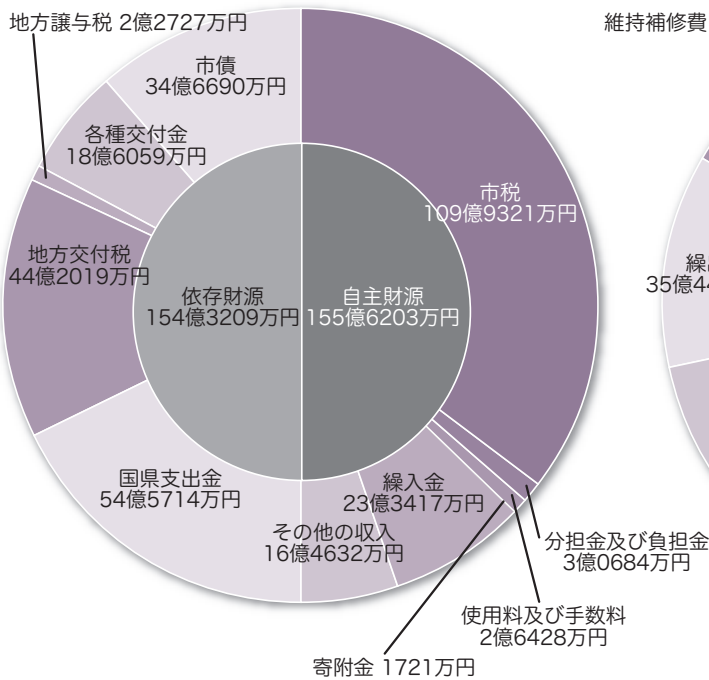


決算概要

年度決算における本市の状況をお知らせします。

歳入決算額 309億9412万円

歳出決算額 300億8028万円



家計簿に例えると...

市の一般会計決算額は、金額が非常に大きいので、各決算額を市の人口で割り、額を縮小して1か月の家計簿に置き換えました。



平成30年度

9月の市議会定例会において認定された平成30

市民一人あたりで計算すると… (歳出目的別) (平成31年3月31日現在人口88,783人)

一般会計決算額を市民一人あたりに計算すると**338,807円**の市民サービスを行っています。

議会費 <small>(議会運営関係事業)</small> 2,995円 <small>(決算額 2億6590万円)</small>	総務費 <small>(市政運営管理費など)</small> 36,888円 <small>(決算額 32億7499万円)</small>	民生費 <small>(高齢者・子育て支援事業など)</small> 101,608円 <small>(決算額 90億2110万円)</small>	衛生費 <small>(ごみ処理事業など)</small> 28,299円 <small>(決算額 25億1247万円)</small>
農林水産業費 <small>(農業振興推進事業など)</small> 4,337円 <small>(決算額 3億8503万円)</small>	労働費・商工費 <small>(地域産業振興など)</small> 4,186円 <small>(決算額 3億7163万円)</small>	土木費 <small>(道路改良維持管理など)</small> 17,217円 <small>(決算額 15億2858万円)</small>	消防費・災害復旧費 <small>(消防防災関係事業など)</small> 11,949円 <small>(決算額 10億6083万円)</small>
教育費 <small>(小中学校維持管理事業など)</small> 44,322円 <small>(決算額 39億3501万円)</small>	公債費 <small>(借入金償還)</small> 23,806円 <small>(決算額 21億1360万円)</small>	諸支出金・予備費 <small>(特別会計・公営事業会計繰出など)</small> 63,200円 <small>(決算額 56億1114万円)</small>	

各会計別決算収支の状況

会計名	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額	翌年度へ 繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計		309億9412万円	300億8028万円	9億1384万円	1億8452万円	7億2932万円
国民健康保険特別会計		87億4058万円	86億7973万円	6085万円	0万円	6085万円
土地取得特別会計		541万円	541万円	0万円	0万円	0万円
簡易水道事業特別会計		5548万円	3907万円	1641万円	0万円	1641万円
市営住宅管理事業特別会計		1億5949万円	1億5137万円	812万円	0万円	812万円
介護保険(保険事業勘定)特別会計		60億0184万円	57億8460万円	2億1724万円	0万円	2億1724万円
介護保険(サービス事業勘定)特別会計		1322万円	236万円	1086万円	0万円	1086万円
公共下水道事業特別会計		14億6083万円	13億9842万円	6241万円	0万円	6241万円
後期高齢者医療特別会計		20億3788万円	20億2661万円	1127万円	0万円	1127万円
合計		494億6885万円	481億6785万円	13億0100万円	1億8452万円	11億1648万円

企業会計別決算収支の状況

会計名	区分	収益的收入及び支出		資本的收入及び支出	
		事業収益	事業費用	資本的收入	資本的支出
水道事業会計		8億3099万円	7億7777万円	1億7222万円	3億7890万円
病院事業会計		24億0914万円	26億8130万円	1億3053万円	2億2750万円

平成30年度の主な事業を報告します

安全が確保され、安心して快適に暮らせるまち

五条広域事務組合の斎場建設(2億6709万円)

令和2年度中の完成を目指して、清須市内に共同利用が可能な斎場の建設を開始しました。

甚目寺駅周辺駐輪場の増設(2872万円)

甚目寺駅西側駐輪場の新設及び南側駐輪場の増設により、駅利用者の利便性の向上を図りました。

合併処理浄化槽補助金の創設(567万円)

下水道処理事業計画区域外に合併処理浄化槽を設置する補助要件適合者に対し、補助金の交付を開始しました。



新設した甚目寺駅西側駐輪場

心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまち

軽度・中等度難聴児への補聴器助成の創設(16万円)

身体障害者手帳交付対象外の18歳未満の難聴児に対し、補聴器の購入等にかかる助成を開始しました。

児童クラブの環境整備(700万円)

美和小・甚目寺小等の施設内の一部を改修し、受け入れ体制の充実を図りました。



改修した甚目寺小児童クラブの様子

郷土に誇りと愛情が持てる、魅力あるまち

学校に派遣する教育相談支援員の増員(261万円)

児童生徒の状況に合わせた支援体制を強化するため、教育相談支援員を増員しました。

新学校給食センターの建設(12億8600万円)

美和プール跡地に新学校給食センターの建設を開始しました。なお、令和元年9月から供用開始しています。

市内小中学校へのエアコン設置の設計(2784万円)

令和元年度に市内の全小中学校の普通教室へエアコンを設置するため、工事設計を行いました。なお、令和元年8月から使用開始しています。



建設中の新学校給食センター

自らの力で歩み続ける、活力のあるまち

新庁舎の建設(7億8135万円)

新庁舎建設に向けて、用地取得及び実施設計を開始しました。

産業誘導候補地への企業誘致推進(1216万円)

方領地区に国内外の優良企業を誘致することを目標に、土地利用計画の作成や交通量推計等を行いました。

交流と連携による、一体感のあるまち

市議会本会議中継の放送内容の拡充(200万円)

本会議のうち、これまでの一般質問と最終日の模様に加え、市議会に上程された議案に対する質疑応答の模様を新たに放映開始しました。

平成30年度決算に基づく 市の財政運営健全度を見てみよう

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、地方公共団体の財政状況を統一的な指標で公表することが定められています。

市では、すべての一般会計・特別会計・公営企業会計において、国が定める基準(早期健全化基準及び経営健全化基準)を下回り、健全な水準が確保されています。

健全化判断比率の状況

財政指標		平成30年度	平成29年度	増減	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	(赤字なし)	(赤字なし)	-	12.60%	20.00%
	連結実質赤字比率	(赤字なし)	(赤字なし)	-	17.60%	30.00%
	実質公債費比率	7.0%	7.1%	△0.1	25.00%	35.00%
	将来負担比率	12.6%	4.5%	+8.1	350.00%	

○実質赤字比率

地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

○連結実質赤字比率

公立病院や下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。

○実質公債費比率

地方公共団体の借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

○将来負担比率

地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

資金不足比率の状況

財政指標	平成30年度	平成29年度	増減	経営健全化基準
水道事業会計	(不足額なし)	(不足額なし)	-	20.00%
病院事業会計				
簡易水道事業特別会計				
公共下水道事業特別会計				

○資金不足比率

公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを表したものです。

引き続き、行財政改革を進め、健全な財政運営に努めてまいります。

平成30年度決算成果を詳しく知りたい方は、「平成30年度主要施策成果報告書(PDF版)」をご覧ください。

[web https://www.city.ama.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/659/syuyouseika30.pdf](https://www.city.ama.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/659/syuyouseika30.pdf)

問合せ先 財政課 ☎444・1714

